



平成30年10月30日

各 位

上場会社名 日工株式会社
 代表者 取締役社長 西川 貴久
 (コード番号 6306 東証 第1部)
 問合せ先責任者 常務取締役財務本部長 藤井 博
 (TEL (078) 947 - 3141)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.業績予想の修正

(1) 平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	950	1,050	750	97.50
今回修正予想(B)	14,700	470	600	560	73.07
増減額(B-A)	△ 1,300	△ 480	△ 450	△ 190	
増減率(%)	△ 8.1	△ 50.5	△ 42.9	△ 25.3	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成30年3月期第2四半期)	16,153	808	925	743	96.24

(2) 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,000	2,150	2,300	1,550	201.50
今回修正予想(B)	32,500	1,600	1,750	1,400	182.68
増減額(B-A)	△ 1,500	△ 550	△ 550	△ 150	
増減率(%)	△ 4.4	△ 25.6	△ 23.9	△ 9.7	
(ご参考)前期実績(平成30年3月期)	35,114	2,103	2,239	1,490	193.77

(3) 修正の理由

上期売上高が予想数値を下回ることになった要因は、ASEAN、及び極東ロシアへのアスファルトプラント輸出が、計画どおりに契約に至らなかったことと、中国で売上を予定していたアスファルトプラント物件の内、一部の物件が下期にずれたことによるものです。輸出の減少と中国の売上のずれに加え、鋼材を始めとした原材料価格が期初見込み以上、値上がりしたこと、更には、環境関連プラントで追加費用が発生したため、利益面でも予想数値を下回る見込みです。

下期については、中国の下期売上は上期のずれがプラスされますが、国内のアスファルトプラント関連事業、コンクリート関連事業ともに上期の受注額が予定を下回ったため、下期の売上高は、中国の売上高増を加味しても当初計画に届かない見込みです。また、利益面でも、売上減に加え、原材料価格が高止まりすることが見込まれるため、下期の営業利益・経常利益ともに下方修正をしています。この結果、通期では、売上高、営業利益、経常利益ともに、上期の下振れ額以上の下方修正をしています。親会社株主に帰属する四半期純利益は下期に予定していた特別損失を上期に計上するため、上期の下振れ金額以内の下方修正をしています。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上